

路線転換 国労大揺れ



国労は二十四日、国鉄分割・民営化事業内容と協議会、社会の議論、労働部と基本協定、運輸労働部と第十五号指令など、中調委員会招集、運動方針決定は東京・八重洲の国労館に開かれ、中調委員会五日前に開かれた。(上面参照)



国労の中央闘争委は見送り

国労執行部の方針転換に反発、中調委会場に予定されていた国労会館4階の会議室になだれこむ強硬派の組合員ら

9/25 共同宣言 反主流派が会場占拠 換路線を粉砕!

9/24 国労女団 先頭に右翼乗車

全国の国鉄職場で人材活用センターで反撃のたたかいがまさおこっている。九一十月決戦に猛然と決起せよ。

反撃の火柱が有った! 唯一の道=全組強固な団結

動労千葉

86. 9. 25

No. 2361

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆)〇四七二(22)七二〇七

全国から総反撃を 10に怒りの国労

国労中央は、九月二十四日、国鉄「分割・民営化」を認める「労使共同宣言」と「雇用安定協約」を国鉄当局と締結しようとする方針をうちだし、中央闘争委員会で決定せんとした。「分割・民営化」反対方針を降ろし、十万人首切りを組合自らおし進めるばかりか、さらなる国労崩壊へ導びく暴挙だ。当然にも中調委は国労組合員の怒りの糾弾闘争によって結論は臨時大会にもちこまれた。怒りは決起を生む。闘いは開始された。

全面降伏を強要する社会党・総評・国労中央方針は許せない!

国労・山崎委員長は、二十四日、運輸大臣・橋本と会談し「清算事業団に配属された職員の再就職の見通しがついた」だから雇用は保障されたとして「分割・民営化」を認める方針をうちだした。

清算事業団にどんな見通しがあるというのだ。こんなペテンにだまされてはならない。同じ二十四日、総評・社会党の「国労に『共同宣言』締結II方向転換させる!」という申し入れに対し国鉄総裁・杉浦は「国労が①大会を開き、合理化反対などの運動方針を修正すること、②当局を相手取って起こしている不当労働行

為などの提訴を取り下げ、点検・摘発行動を中止すること、を決定・実施し、かつ本部・全地本でこのふたつの条件を完了した場合に当局は『共同宣言』『雇用安定協約』を結ぶ意思がある」というのだ。

松崎の道を追いかける山崎

杉浦は、「国労が、全組合員が屈服、服従すれば考えてやらないこともない」といつているのだ。こんなナメられた話があるか。

山崎委員長自ら「分割・民営化は国労解体攻撃だ」といつてきたように、国労がどんなに屈服しようとする許さない攻撃だ。しかも、「共同宣言」を結んだからといって首切り、人材活用センター、職場活動へのしめつけは強まるだけだ。何よ、りも国労中央は、松崎や鉄労の裏切り者の道を歩もうとしている。

国労東京の決起につづけ

―勝利への反撃は開始された!―

国労中央の裏切りに対し、全国でとりわけ国労東京は中央を糾弾するとともに

①不当労働行為摘発強化、②労使共同宣言と対決、分割・民営化法案廃棄、③ストを含む具体的戦術の明確化など六項目を緊急に申し入れた。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ